

体育科授業としてのラグビー 「4人対4人」のルール

	攻 撃 側	守 備 側	
試 合 開 始	<p>1 レフリーの合図で、お互いに礼・握手をする。ジャンケンに勝った方が攻撃権を得る。</p> <p>2 コート中央で味方にフリーパスをした時点から試合が開始。 (フリーパスとは、下方より、真横又後方にいる味方に行うラグビーで行うパス)</p>	<p>2 ハーフウェイラインから5mさがり、相手がパスをするまでは、前へでることができない。</p>	試 合 開 始
攻 撃	<p>3 パスを受けたプレーヤーは、タグを取られるまでボールを持ったまま走ったり、タグをとられる前にパスをしたりすることができる。 できるだけ前方へボールを運ぶ。 ボールを前にパスすることはできない。 攻撃側のプレーヤーは、ボールを持っている人より前にでられない。</p>	<p>3 ボールを持ったプレーヤーのタグを取ること で、相手チームの前進を止めることができる。 インターセプトやボールに働きかける行為は最初の段階では危険防止のため禁止とする方がよい。</p>	守 備
タ グ	<p>4 タグされたら、できるだけすばやく(三步三秒以内)味方にパスをしなければならない。 タグされたプレーヤーが、パスできなかった場合は、その地点からプレーを再開する。 タグされたプレーヤーは、タグを返してもらいベルトにつけてからプレーに参加できる。</p>	<p>4 タグを取ったプレーヤーは、相手がパスしたあとに手渡しでタグを返してからプレーに参加する。 タグが発生した場合、オフサイド位置にいるプレーヤーは、オンサイド位置までもどる努力をしなければならない。攻撃側に不利益が生じた場合、ペナルティーとなる。 サブレフリーがオフサイドラインを指示し、守備側はオンサイドの位置にもどる。</p>	タ グ
攻 守 交 代	<p>5 3回目のタグがコールされたら、直ちにその地点から相手チームに攻撃権が移る。</p> <p>6 ボールを保持したプレーヤー、またはボールがタッチラインから外へ出た場合は、その地点から相手チームへ攻撃権が移る。</p>	<p>5 3回目のタグをコールしたら、直ちにその地点から味方チームの攻撃となる。</p>	攻 守 交 代
得 点	<p>7 ボールを保持しタグがとられていないプレーヤーが、相手のゴール内にボールを置いたり、置くことが不慣れな場合は、ゴールラインを走り抜けることでトライ(1点)となる。</p>	<p>7 トライをされた場合、ゲームの再スタートは攻守が交代し、レフリーの指示により味方チームの攻撃で始まる。(速攻の禁止:守備側のセットができてから試合開始となる。)</p>	得 点
	<p>8 ゲームの再スタートは、コート中央によりトライされたチームのフリーパスによって始める。</p>		
そ	<p>タグが両サイドに1本ずつ2本ついていないと動</p>	<p>相手チームのタグを持っていると動いたり、プレ</p>	そ

<p>の 他</p>	<p>いたり、プレーに参加することができない。</p> <p>パスミスやキャッチミスなどでボールが横や後方に落ちた場合、最初にボールを拾った側が攻撃を直ちに再開してもかまわない。ただし、実態に応じて、ボールが転がった場合（プレーヤーの転倒も含む）は、直ちにプレーを止め、攻撃側の反則としてタグの回数を1回増やし、間を開けてから試合をさせる安全管理をすることも大切である。</p> <p>ゴール前5m以内でプレーが止まった場合、プレーの再スタートは、ゴールラインから5m以上はなれて行う。プレーの再スタートは、フリーパスによっ始める。</p>	<p>ーに参加することができない。きちんと手渡しで返して「ありがとう」を聞いてからプレーに参加する。</p> <p>ゲーム及びプレーのスタートのときは、相手チームのボール保持者より5m以上離れなければならない。</p> <p>相手チームのフリーパスによって防御側のプレーが始まる。</p>	<p>の 他</p>
<p>禁 止 事 項</p>	<p>防御側のプレーヤーにぶつかっていく行為。</p> <p>タグを取りに来ることをじゃまする行為（手で防ぐ、体を回転させる、腰を引いてボールや手で防御するなどの行為。）</p> <p>ゲーム及びプレーのスタートの時、味方のパスに対して走り込んでもらう行為。</p> <p>禁止事項については、直ちにプレーを止めて指導する。繰り返す場合は、攻守の交代をする。</p>	<p>ボールを持っているいないに関わらず、相手にぶつかったり、腕や服をつかんだり足を引っかけるなどの行為</p> <p>タグするために飛び込み、地面にあるボールへの飛び込みなど明らかに危険な行為</p> <p>大きな声を出し威圧する行為(攻撃側も同様)</p> <p>禁止事項については、直ちにプレーを止めて指導をする。繰り返す場合は、タグの回数をリセットする。(0回に減らして、その地点からを再スタートさせる。)</p>	<p>禁 止 事 項</p>
<p>試 合 終 了</p>	<p>9 きちんと整列し、相手チームとレフリーに礼をし、握手をする。</p> <p>10 ラグビー精神「NO SIDE」を大切にする。</p>		<p>試 合 終 了</p>